



学校長
印鑑省略

2025年度 エプソン情報科学専門学校 実行計画

学校評価項目	【教育理念】		【教育方針とは】	【長期ビジョン】
学校の教育理念・目標 ①	本校では、開学以来変わることなく、技術者として、社会人として優れた人材となれる学生の育成を目指し続けています。 その基となるのが、「三心・三共・三学」の理念です。 三心：通いあう心、信じあう心、ひたむきな心 三共：共鳴、共感、共働(協働)の感性 三学：自学、究学、徹学の態度		1. 協働・共学など多様な授業の経験を通して、心豊かで自立(自律)した人材を育成する 1. 実践的な演習・実習により、確かな知識と技術力を持つ人材を育成する 1. 仲間と共に成長し、企業や地域社会に貢献できる人材を育成する	【長期ビジョン】 社会人基礎力と専門性を有し、社会になくてはならない人材育成し続ける
				【中期基本方針:2024～2026】 1. 文部科学省の認定校として、最新の知識、技術、技能を身につけられるよう、実践的かつ本校独自の教育課程を編成し、企業や社会から求められる自立(自律)した人財を育成・支援し続ける。 2. 学生自身が本校で学びたいと思える魅力的な学校運営を目指し、学生獲得に向けた各種施策と収益改善施策を講じ、安定的な学園経営を実践する。

【学校評価の各種活動と実行計画との関連性】

- ①学校の教育理念・目標の定めと具体性 ②学校運営(計画立案・PDCA・諸規程整備) ③教育活動(学科見直し各種評価) ④学修成果(就職率・資格取得・退学軽減) ⑤学生支援(支援体制・健康管理・保護者連携)
⑥教育環境(施設整備・維持更新・研修などの整備) ⑦学生の受け入れ募集 ⑧財務(財政基盤の安定性・会計監査・奨学金回収等) ⑨法令等の遵守(定期監査・個人情報保護・学校評価)

分 担	学校評価・項目	No.	推 進 項 目	No.	具体的な推進計画内容	到達目標(期待される成果)
共 通	①学校の教育理念・目標 ②学校運営 ⑦学生受入	1	学園の魅力づくり	1	中期計画2年次として情報科学領域の専門学校として強みを強化し他校との差別化を図る	セイコーエプソンのとの連携を更に深めると共に地域企業のニーズおよび学生ニーズを織込んだスキームを整理する
				2	高等学校のIT教育を支援・サポートし、地元で活躍できる理系・IT系の学生を拡充する	近隣高校が広げている情報系の授業に関して出前授業による支援と専門学校の長期休暇中の授業体験の拡充
				3	評価点の低い学校評価項目の改善	学校評価:3.5point(FY23・FY24) ⇒ 0.2ポイントアップ 3.7Point
	④学修成果 ⑧財務	2	18歳人口減少に伴う学園の構造再編	1	企業が入社後に行う専門教育・リーダー育成を専門学校の教育課程に織り込み企業へ繋ぐ仕組みづくり	1年次は企業ニーズ調査・発掘／2年次は企業との協定具体化／3年次に企業採用へ結び付ける
				3	収益改善施策の展開	予算目標の達成
		4	退学者の削減	1	学生個別指導・補習授業・学生との定期個別面談を強化・保護者との連携(タイムリーな共有)	目標:8%以下 チャレンジ目標:5%以下
教 務 部	③教育活動	1	「5年後10年後の会社に”なくてはならない”人材」を目指した育成	1	基礎学力を身に付けさせる ・学生のレベル差に対応できる理解度向上施策に取り組む(ミニテスト・補習) ・自主学習を習慣化し定着させる	追試験件数 1.0件以下/人(前年度1.16件/人) 、A評定率前年度(45.5%)以上
				2	チーム力と論理的思考力を向上させる	グループワークを充実し目標達成に役立つ計画力と協調性を身に付けさせる ロジカルシンキングの授業を継続して、物事を論理的に伝える力を身に付けさせる
	⑤学生支援	2	教える力の向上 (どうやって身に付けさせるか)	1	教職員自身が自分の専門領域を広げる、深堀りする	新規授業の組込み、独自学習、通信教育、セミナー参加、資格取得等に1つ以上取り組む 非常勤講師および自身の授業評価(授業評価アンケートや面談)による実践状況把握と改善
				2	教える力を磨く・鍛える	常勤/非常勤、学科の枠を超えてお互いの授業を参観して授業方法に改善を加える 授業評価アンケートによる学生満足度を向上させる
	④学修成果	1	学科、学年を越えて交流し、共に協力し合う人間性の教育と達成感の共有	1	学科・学年を超えて親睦を図るための場を設定し、学生会主体の活動を支援する	スポーツ祭、三心祭の準備から実施に至るまで全学生が満足し、達成感を得られる
				2	ルール、マナーの重要性を授業、集会を通じて教えて実践させる	校則の重大違反なし 授業以外のイベントにおける遅刻・無断欠席者を減らす(1回平均1人以下)
	④学修成果	2	学生の資格取得件数の向上	1	資格検定合格の目標値である1人当たり4件以上を達成する	2年間で一人当たりの資格取得件数4件以上を 全員 が達成する
				2	学生個人の能力に応じた資格取得を推進。更に上位資格(Bランク以上)への挑戦を促す	10P以上の特別表彰を 18名以上(33%) 出す 特進クラスは全員が卒業までに10P以上取得させる
就 職 指 導 部	④学修成果 ⑤学生支援	1	就職内定率の確保とエプソングループをはじめとした専門性を生かせる企業・個人の能力を生かせる企業への就職支援	1	校内ガイダンスの招待企業に加え、校内での会社説明会の実施を拡大。 (新規招致企業の開拓・企業との信頼関係強化)	就職内定率95%以上を確保する
				2	セイコーエプソン人事部との連携によりエプソン受験者、合格者を増やす。 より早い段階から自由応募検討中の学生の志望度を高め、受験者を増やす。	SEC入社率15%以上を確保する
				3	「自己分析」・「職種理解」を基礎に、書類作成や面接力を向上させる。 就活に必要な前向き度、元気をアップさせるのための授業、イベントの実施。 企業側の考え方を理解させ、就活に対し自信を持たせる。	卒業生、企業へのヒアリング、およびカリキュラム等について企業側の要望の聴取を行う エプソン特進クラスの役割を強化し、エプソンで必要なスキル・知識を向上させるアプローチを展開する
入 タ 試 セ ン	⑦学生受入	1	募集者数の拡大 および出願者増加に繋がる施策の展開	1	・魅力ある学園づくりと連携したPR活動、ホームページからのアクセス者増を狙った企画・調整 ・隣県へのアプローチと学生募集活動の展開	出願者数増＝対前年＋5名
				2	・ガイダンス参加の拡大「高校訪問数の増加」と企業とタイアップした新しい企画の試行 ・オープンキャンパス、ミニオープンキャンパスの実施内容・PR方法の見直しによる参加者増	オープンキャンパス参加者数の増＋10% ガイダンス参加者数の向上
事 務 局	⑧財務	1	経費削減・業務の効率化	1	・経費全般の見直し ・業務フロー等の見直しによる合理化・効率化推進(勤怠管理システム／学費・各種支払方法改善)	取り組み項目と目標値の設定(前期)、具体化と効果把握(後期) LED化による電気料削減のフォロー
	①学校の教育理念・目標	2	学校の特色の周知	1	周知方法の改善、ホームページの改善、周知先の開拓(地方紙・マスメディアの活用)	管理指標は入試センター1と2で把握